

「お手伝いをよくする子は、賢い子が多い」という話を聞いたことがある。それは、手を使って働いているときには脳も使っているからであり、手が器用に動くということは脳が十分に鍛えられているからだと思われる。

普段の生活の中で家族の一員として自分の役割をしっかりと果たすことは、将来自立した大人となるための力を身に付けることの一步となる。

子どもたちの長い休みである冬休みなどは、お手伝いを習慣として身に付ける絶好の機会となったはずである。

小さい子ならば、まずは「手伝ってくれる?」「一緒にやらない?」と誘って一緒にやることである。やりながら良いところはほめ自信を持たせ次に繋げていくのである。子どもたちは、元来お手伝いは好きである。親と一緒にやりたいと思っている。会話しながら部屋の掃除、片付けなどをすれば親子のふれ合いにもなる。いつも話さないようなことも語ってくれて子どもを理解する上で大いに参考となる。

その次に、子どもが一人で出来る仕事を親子で相談して決める。玄関を掃く、靴を揃える、食器を洗う、風呂洗いをするなどいろいろな仕事がある。まず簡単に長続きするもの

から始める。そのお手伝いは、今まで一緒にやって見せたものから決めるとさらによい。少し時間がかかっても上手に出来てなくても大目に見てやったことをほめる。自信を持たせ長く続けられるよう見てやるのが大切である。

子どもたちは、お手伝いから多くのことを学び成長することが出来る。仕事をやり遂げることからくる達成感、自分が家族の一員として役割を果たしているという責任感、仕事はどうやったかはやく要領よく進められるかの段取る力、仕事をすることから生じる行動力などである。

最初は、だれでもお手伝いから始まるが一人でやるようになれば立派に家族の一員として家の仕事の一部分を分担していることになり、お手伝いではなくなる。

子どもたちにとって家の仕事をするとすることは、社会参画の第一歩である。家での仕事が、自分の役割として当たり前出来るまで、大人は根気強く取り組む必要がある。



毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市市民会議編集委員

連載・青少年健全育成シリーズ 第247回

# 「家族の一員としての役割」

## 広報「つる」広告募集!

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか? 広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます!

問合せ先: 行政管理課 秘書広報担当

## 広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄